

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 信州医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I未訓	救臨感輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	23,670	非該当	非該当	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
292	-	24
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
268	-	268

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

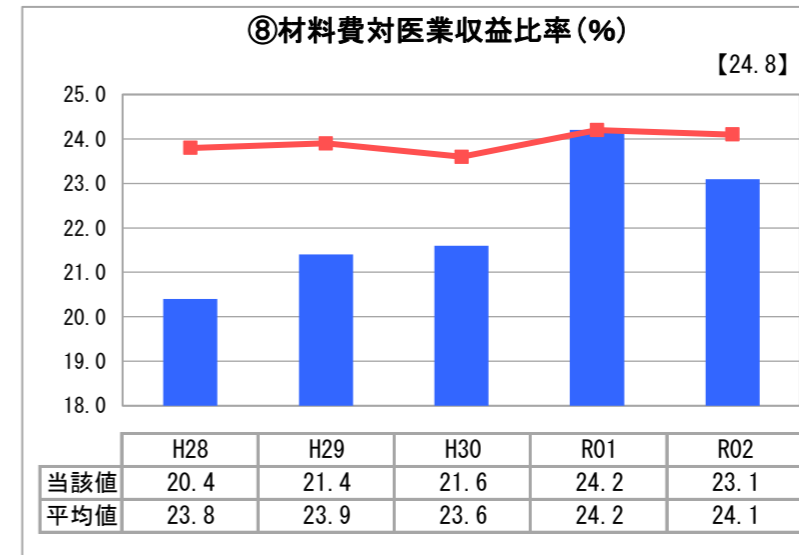
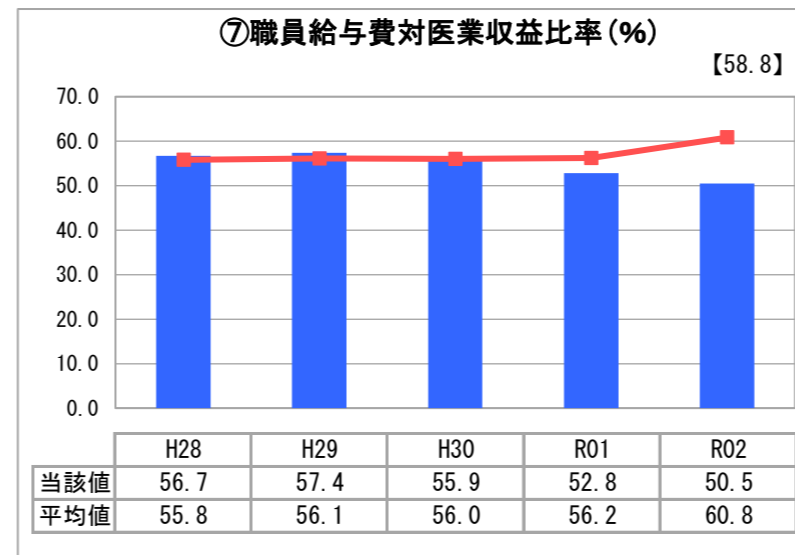
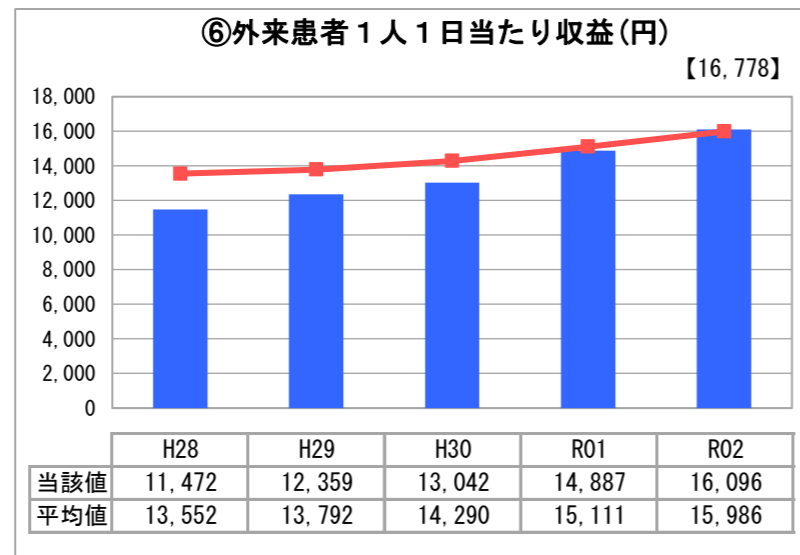
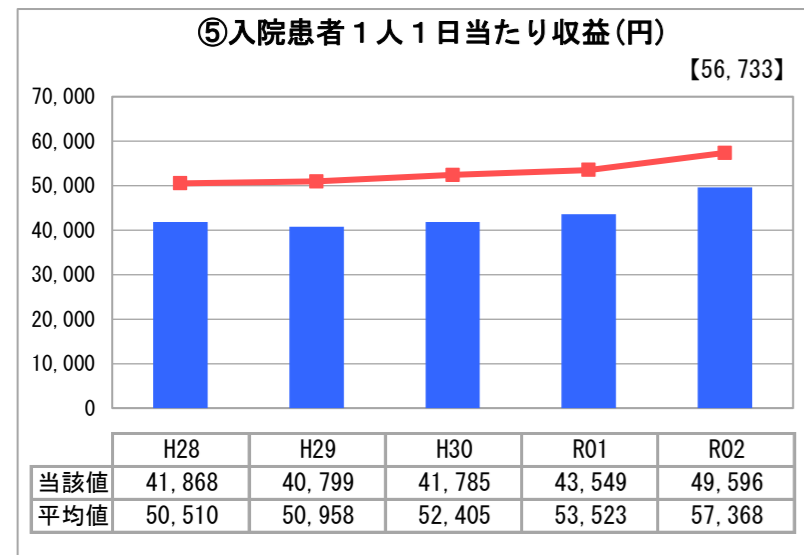
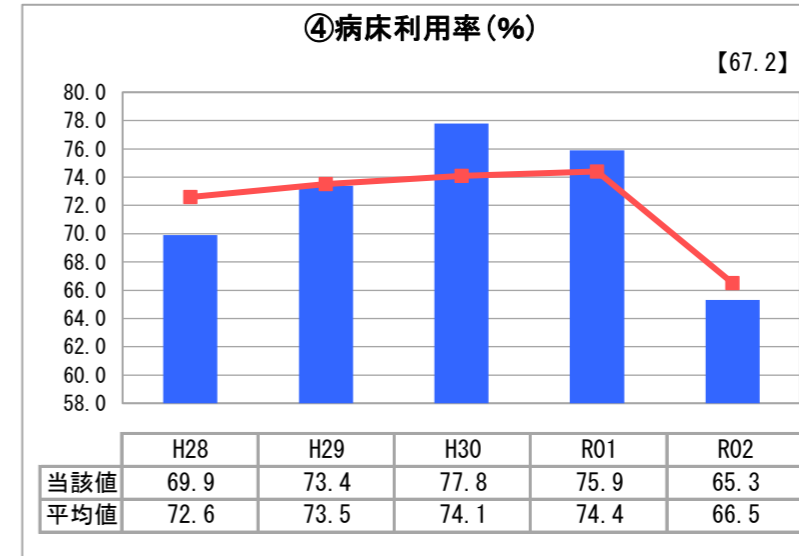
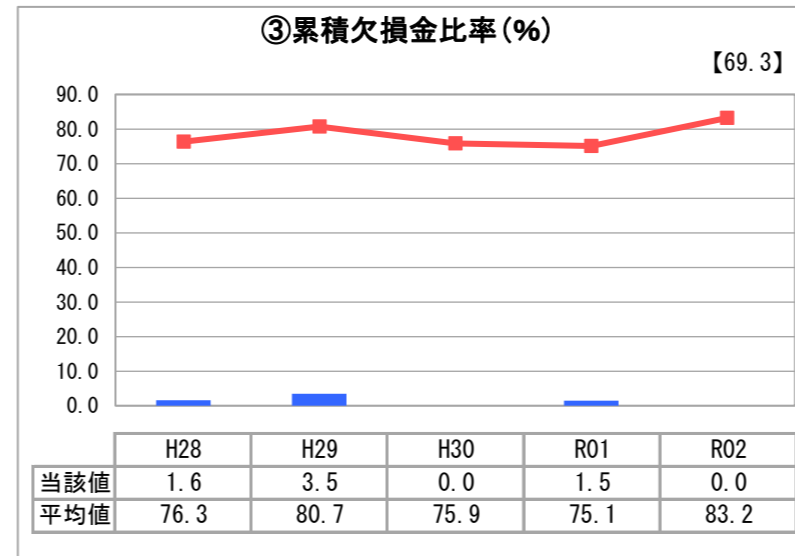
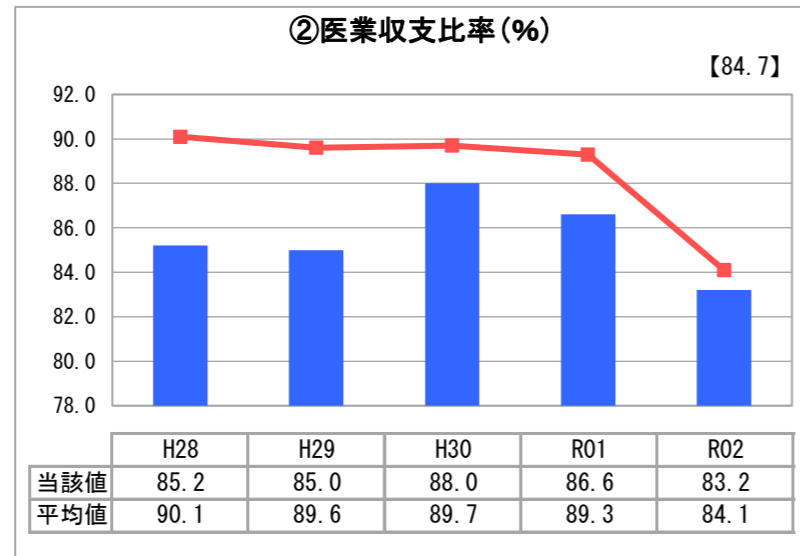
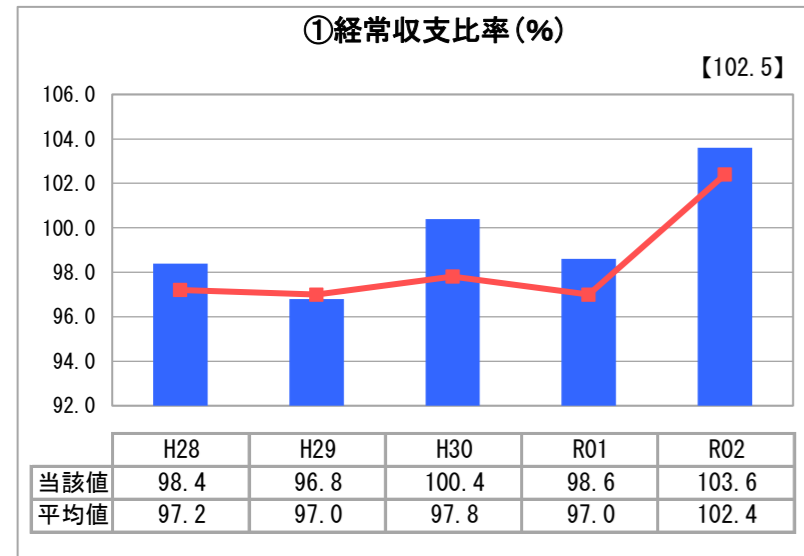
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

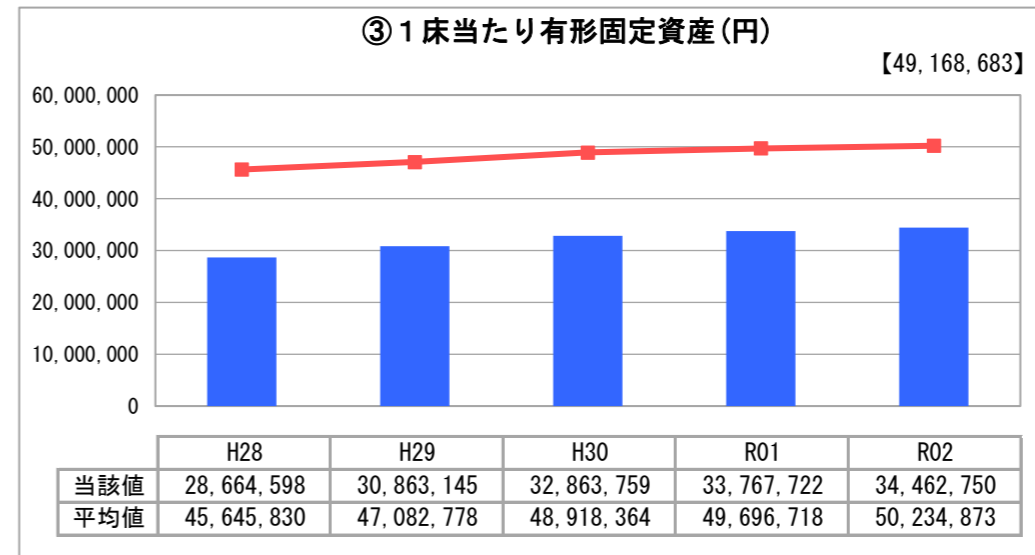
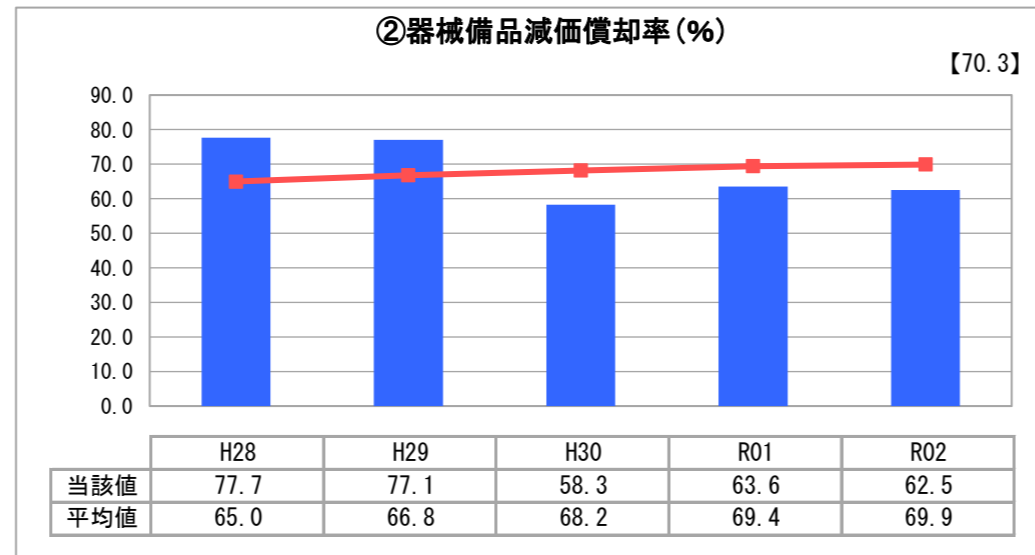
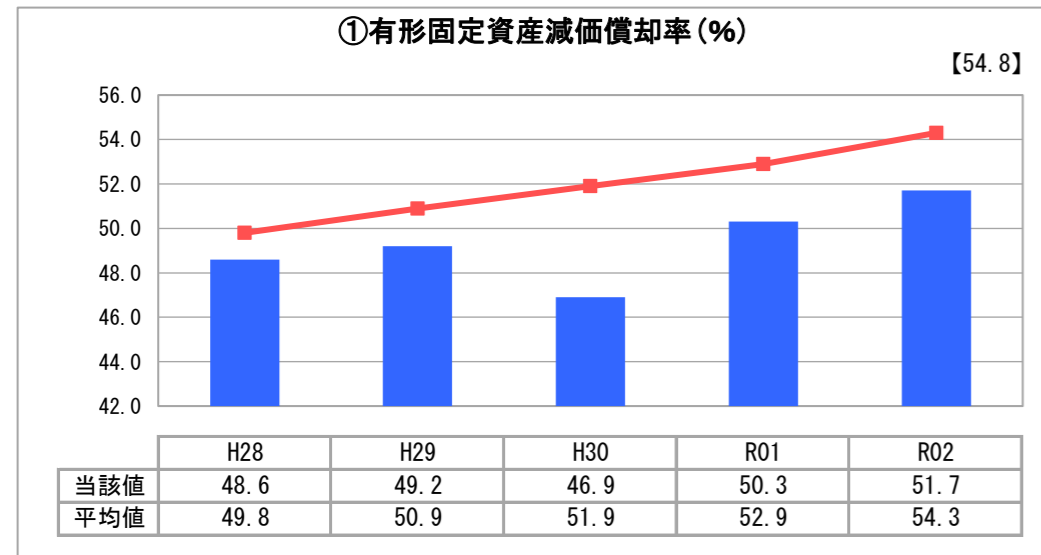
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成22	年度
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

当院は、須高地域（須坂市・小布施町・高山村）の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っている。
内視鏡センターや専門外来等を設け、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと多面的な診療機能を発揮している。
また、地域包括ケア病棟を有し、地域医療機関や介護施設等との連携を図り、地域包括ケアシステムの中核的役割を果たしている。
さらに、人材育成研修機能として、スキルスラボを活用したシミュレーション研修や自治医科大学卒業医師などの臨床研修病院としての機能も果たしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和2年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により前年度を上回る比率となり、また、類似病院平均値より上回った。②医業収支比率では、新型コロナウイルスの影響により前年度を下回り、類似病院平均値より下回った。
・④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症受入体制の整備、住民の受診控えの影響を受け、患者数が減少したことにより前年と比較して減少し、類似病院平均値より下回った。

2. 老朽化の状況について

減価償却率は増加傾向にあるが、類似病院平均値より下回っている。
建物建設から19年が経過し、多くの施設設備や医療機器において経年劣化が進んでおり、故障や修理が増加している。
今後、年数の経過と共にさらに老朽化が進行し、更新が必要な施設設備や医療機器の増加及び更新費用の増大が見込まれるが、中長期的な更新計画を策定し、緊急度、優先度を精査した更新投資を行っていく必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題に対処するとともに、引き続き地域の医療ニーズに応じた診療体制の充実を図り、医療の質の向上に努めるとともに、安定した患者の確保、病床利用率の向上、高い診療単価の維持による収益増加と費用節減を行い、経営安定化を図る。
また、診療機能を維持していくため、老朽化が進んだ設備・機器の状態を把握し、緊急度、優先度の精査を行いながら、計画的な更新を進めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 こころの医療センター駒ヶ根

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,170	非該当	非該当	10：1

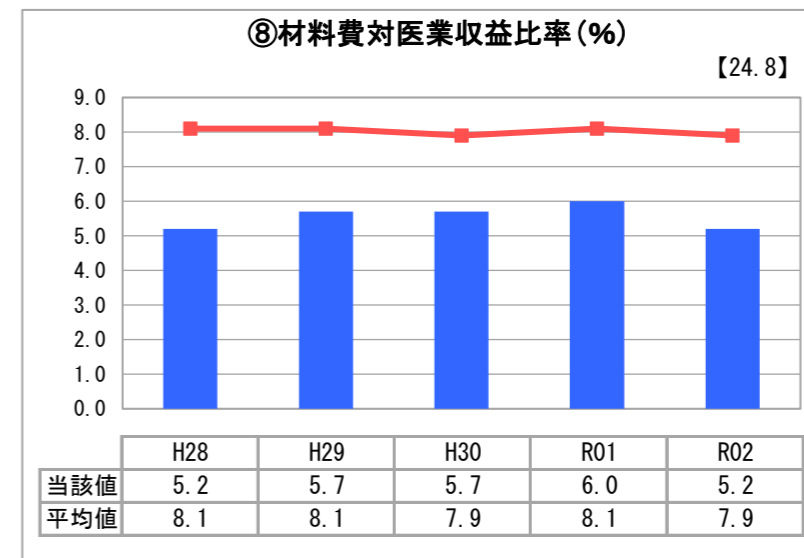
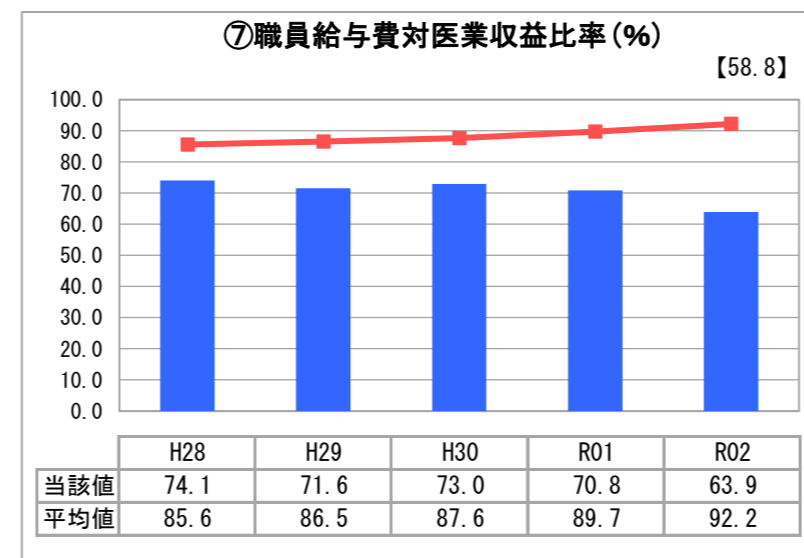
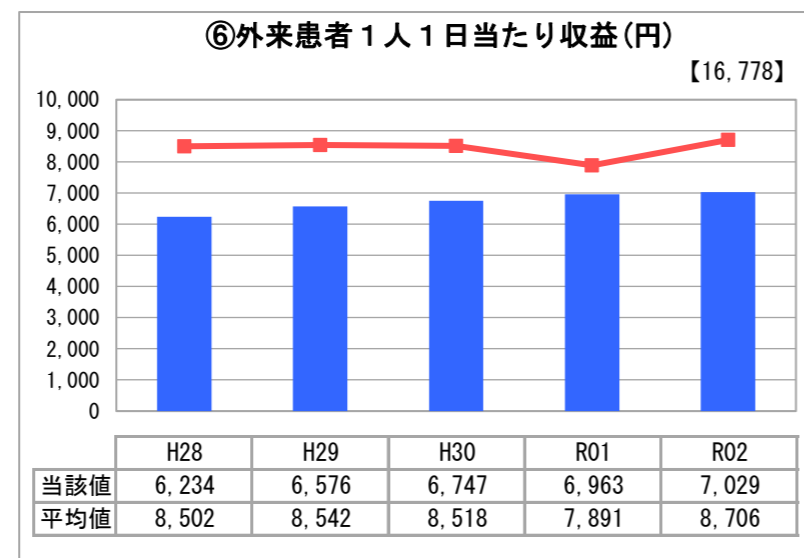
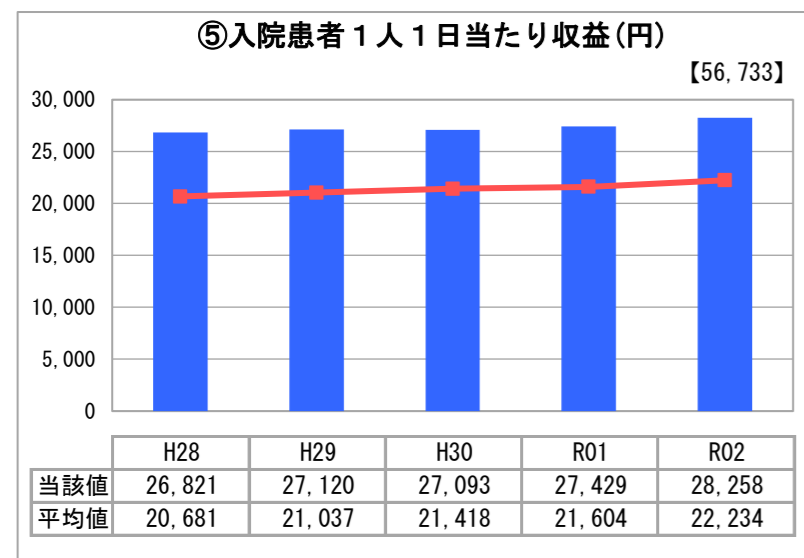
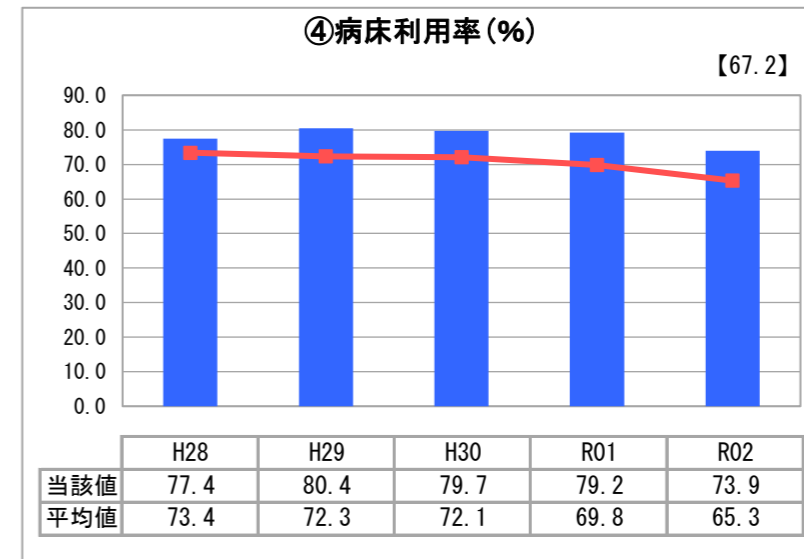
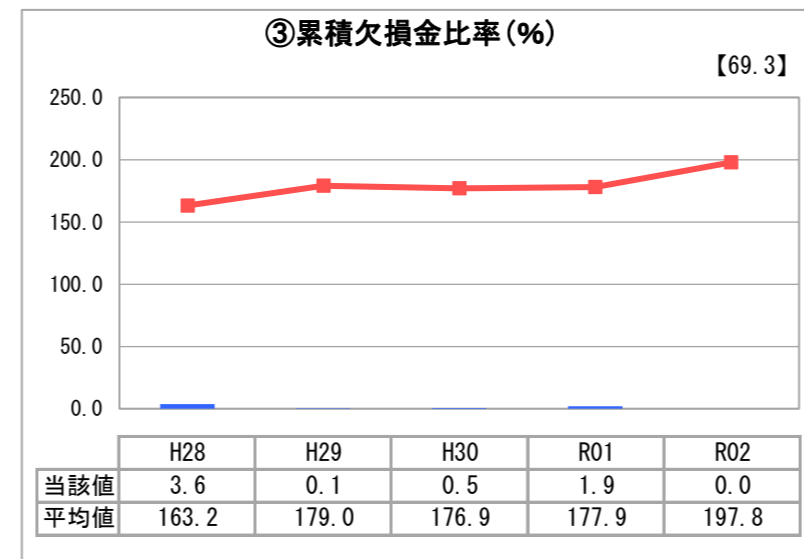
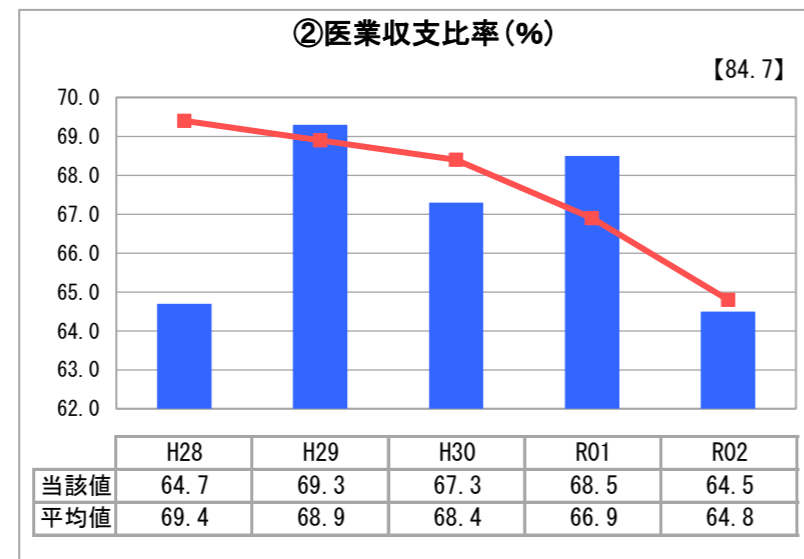
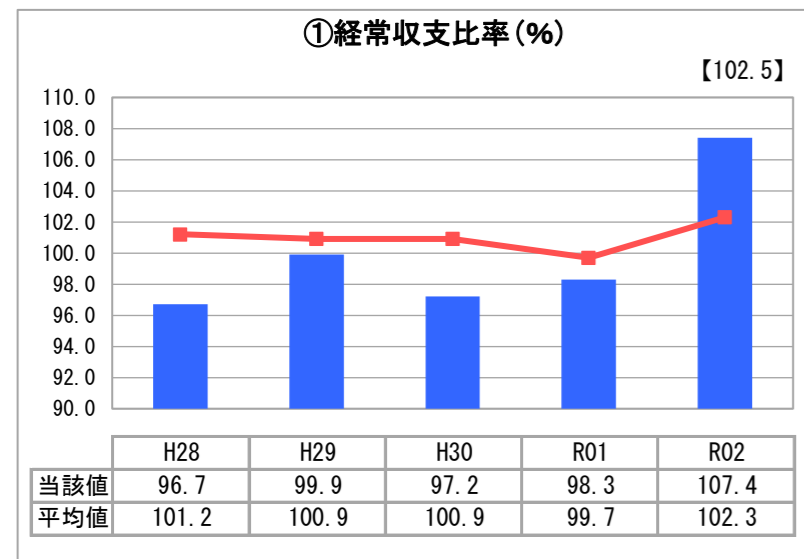
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

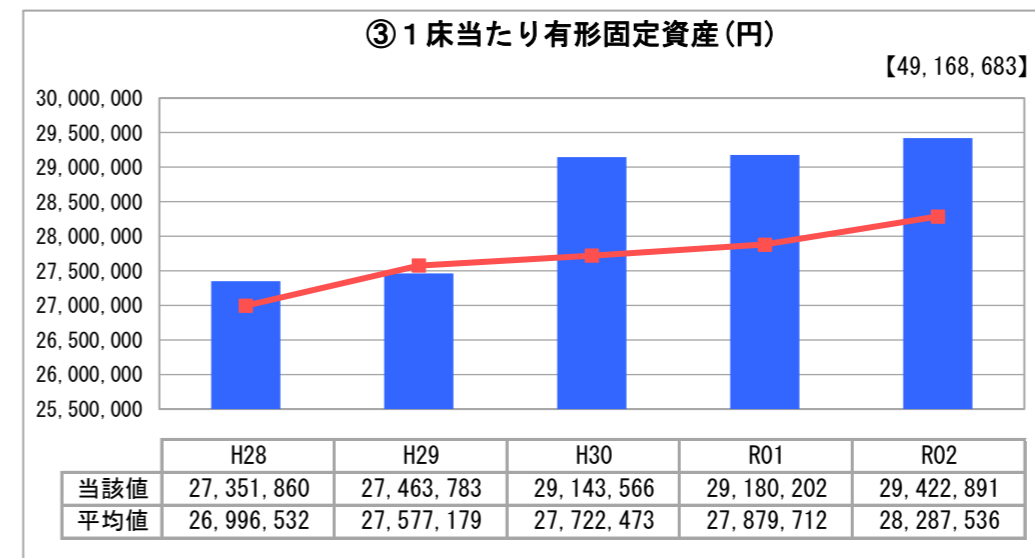
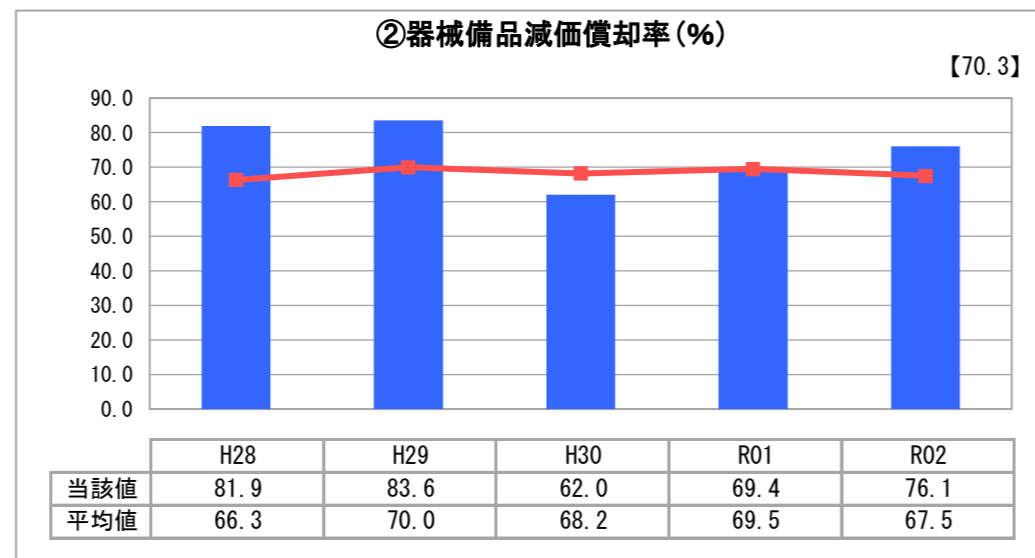
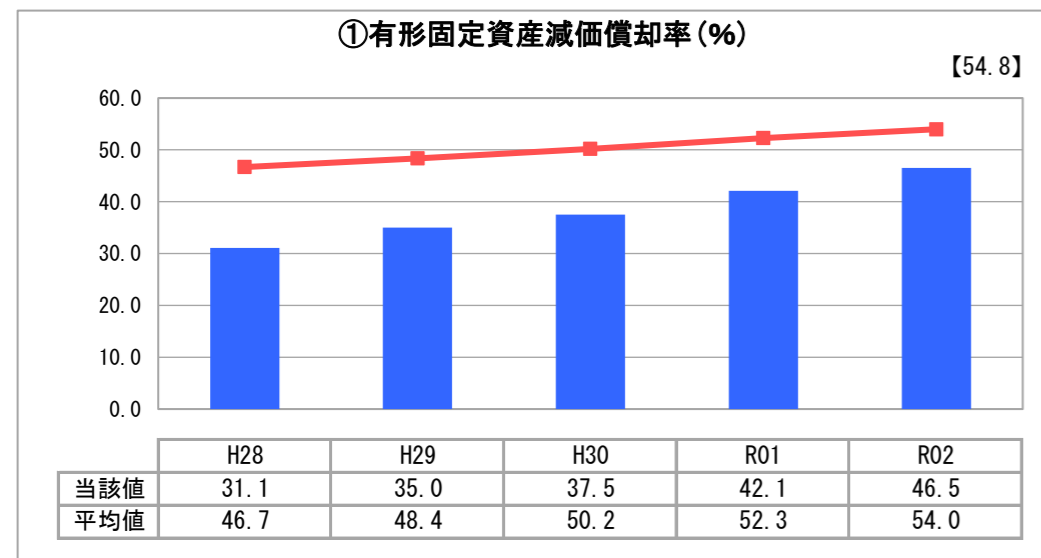
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
129	-	129
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

24時間体制の精神科救急医療、アルコール・薬物及びギャンブル等依存症、児童・思春期、青年期精神医療、医療観察法など多職種チームによる専門医療を提供している。また、他の医療機関では治療困難な精神疾患を持つ患者を全県から受入れている。認知症医療については、令和2年4月に県から指定を受け、「認知症疾患医療センター」を開設し、専門医療相談等を開始している。

また、平成29年4月に開設した「精神科研修・研究センター」において、信州大学との連携大学院教育を開始し医師や医療スタッフの育成や研修に力を入れている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 令和2年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により前年度を上回る比率となり、また、類似病院平均値を上回った。
- ②医業収支比率では、新型コロナウイルス感染症の影響による入院収益の減少によって前年度を下回り、類似病院平均値を下回った。
- ④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、患者数が減少したことにより前年と比較して減少したが、類似病院平均値より上回った。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産の減価償却率は年々上昇傾向にあるが、類似病院平均値より下回っている。病院建築後の年数が浅いため、当面は施設維持に多額の費用を要する見通しはない。しかし、徐々に設備の修繕が増えていることから、今後施設の適切な管理を行い長寿命化を図るとともに、将来の大規模修繕・増改築に備える必要がある。
- 器械備品については、償却率の上がり方の傾向から、今後入替えやメンテナンス等の費用が増加することが予想される。

全体総括

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による医業収支比率の大幅な減少があったため、今後は患者数の増加と収益向上により尽力し、経営の健全性を高めていく必要がある。
- 政策医療を担う県立精神科病院として、精神科救急、m-ECT（修正型電気痙攣療法）、クロザピンの投与等の専門医療、アルコール・薬物及びギャンブル等依存症、児童・思春期、青年期の精神疾患への専門医療、医療観察法など、多職種チームによる高度な専門医療を提供し、他の医療機関では治療困難な精神疾患を持つ患者の受入れを引き続き行っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 阿南病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透	救へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,994	第1種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
85	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	85
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
70	-	70

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

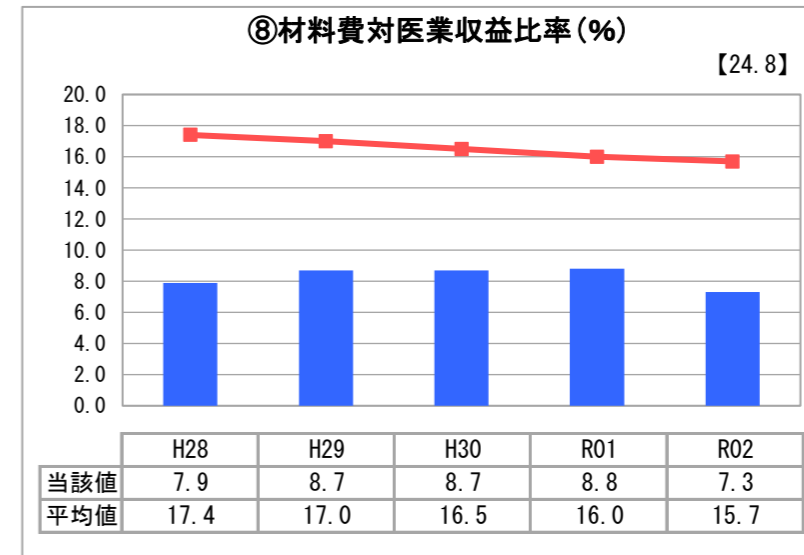
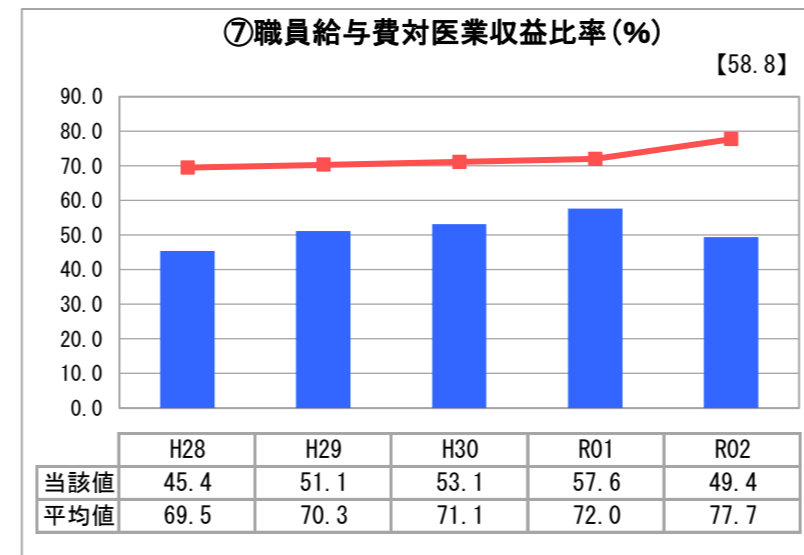
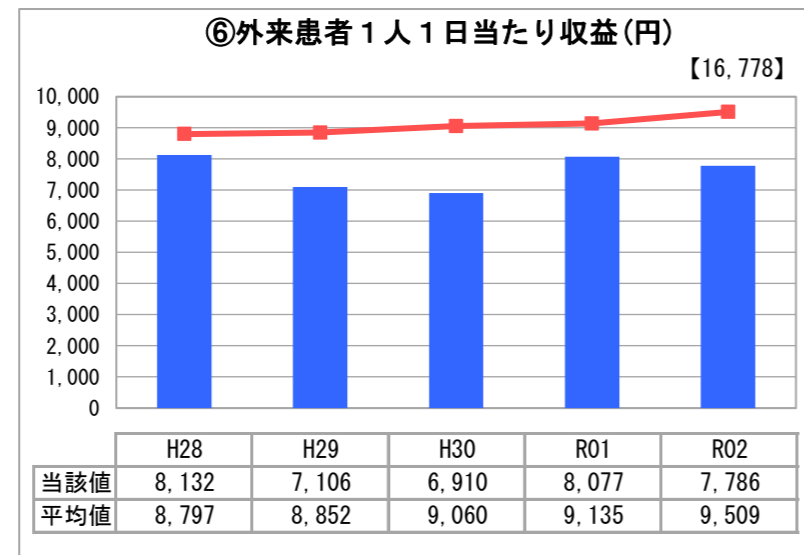
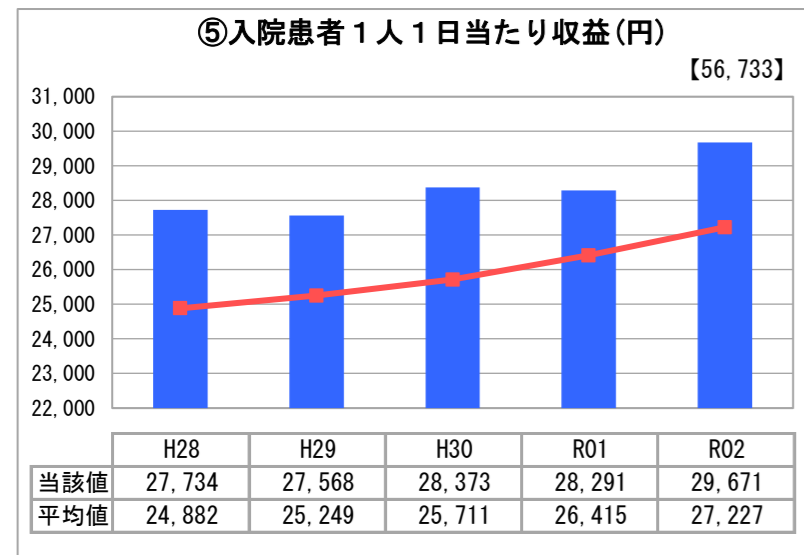
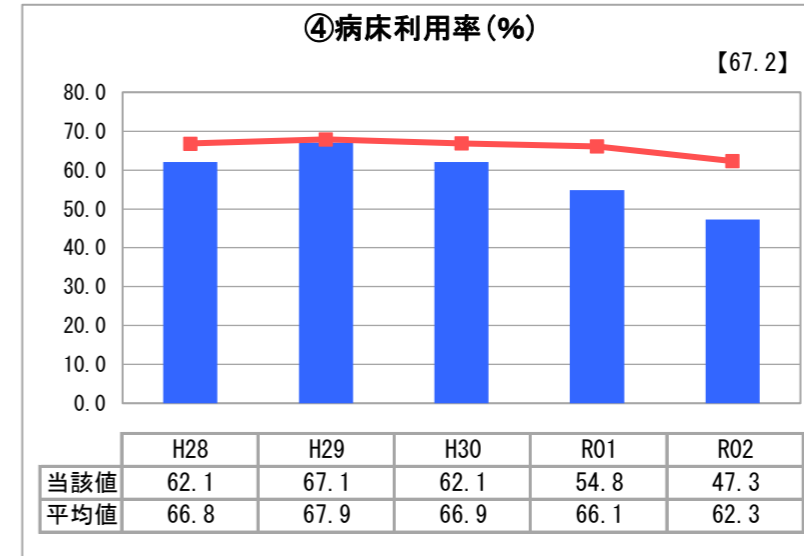
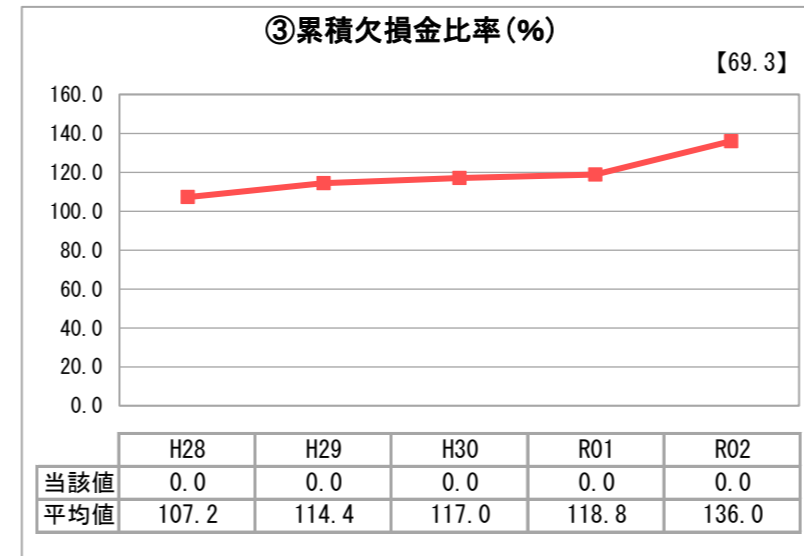
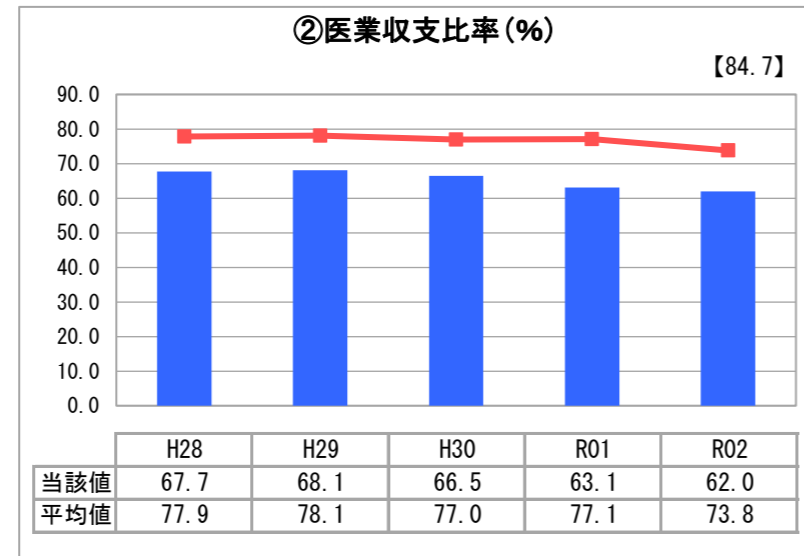
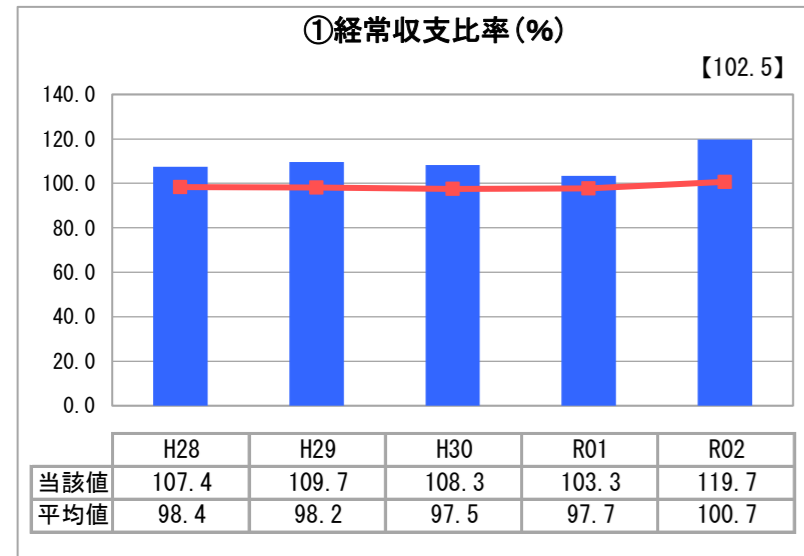
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

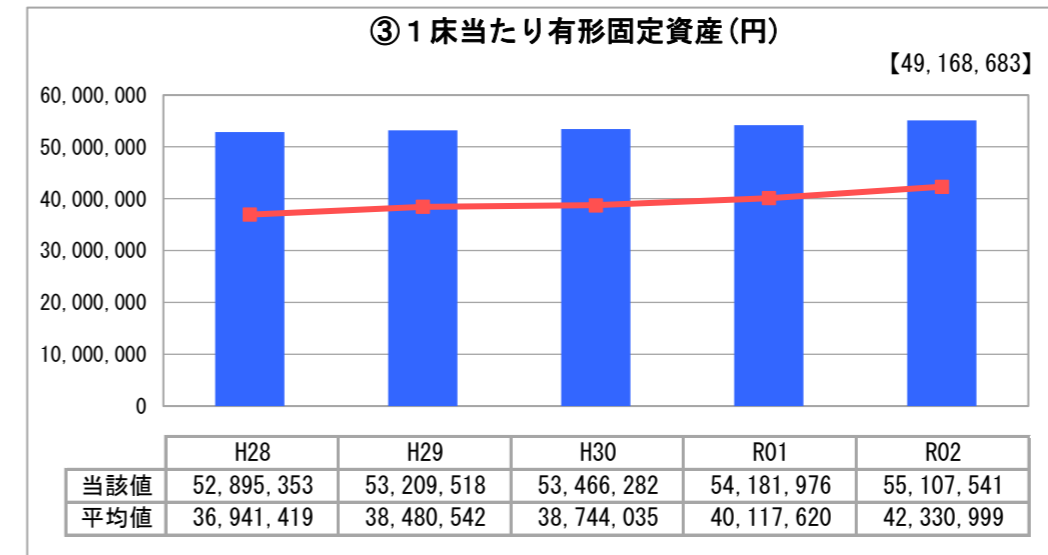
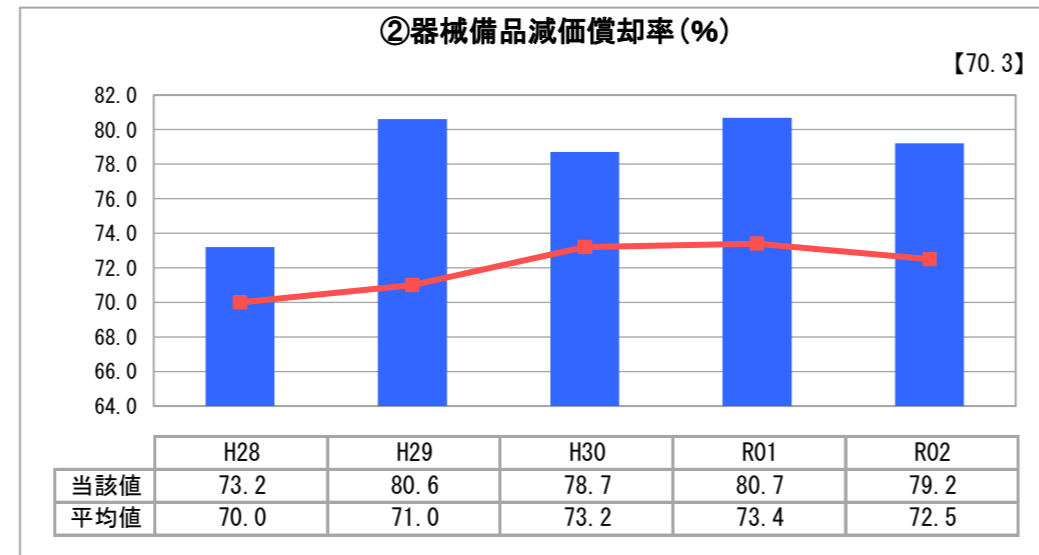
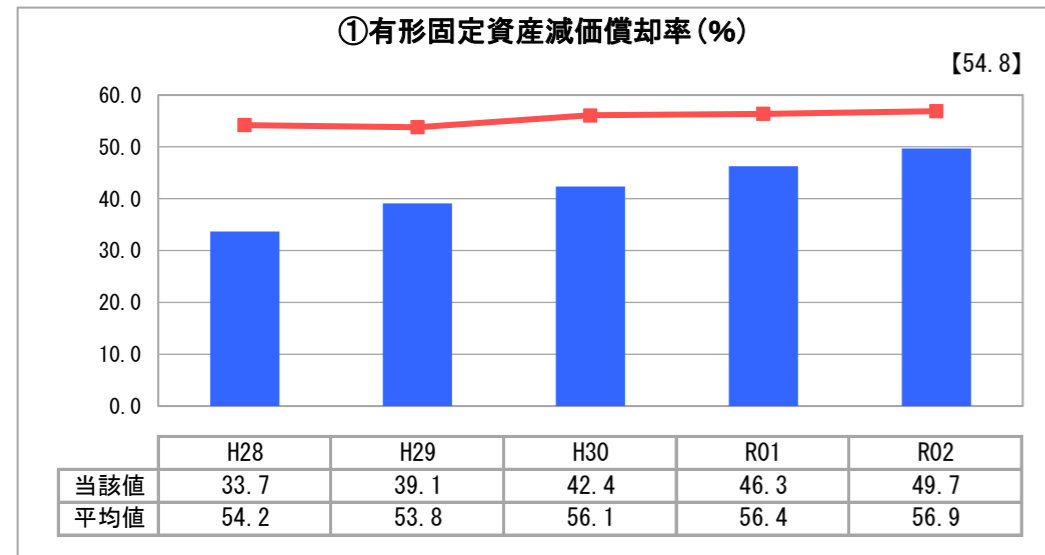
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成22	年度
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

長野県下伊那南部地域の中核病院として二次医療を担っており、へき地医療拠点病院、救急告示病院として、地域住民の疾病予防、早期発見、治療及び救急患者の対応に寄与している。
また、交通事情や地域ニーズに合ったへき地巡回診療や、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリなどの在宅医療にも力を入れた地域医療を提供している。
さらに、併設の阿南介護老人保健施設と連携し、医療と福祉の切れ目のないサービスを提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和2年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により前年度を上回る比率となり、また、類似病院平均値より上回った。②医業収支比率では、常勤整形外科医の退職及び新型コロナウイルス感染症の影響により前年度を下回り、類似病院平均値より下回っている。
・④病床利用率は、常勤整形外科医の不在、新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者数の落ち込みが激しく前年度と比較して減少した。また、類似病院平均値より下回っている。⑦職員給与費対医業収益比率は、補助金収益増加により前年度より比率が下がっているが、補助金を除いた場合は増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

本館棟は耐震化改築工事により2013年に新館となったが、1985年に建築された東館、西館についてはももに不具合箇所が散見される。今後は、計画的に修繕を実施するとともに、建て替えを視野に入れた経営計画を検討していく必要がある。
また、器械備品減価償却率が高く、器械の老朽化が進んでいるため、収支のバランスを踏まえた上で、計画的に器械を更新する必要がある。

全体総括

経常収支比率は5年連続で100%を達成しているが、医業収支比率が60%台で推移しており、本来の医業活動から生じる医業収益だけで賄われている状況ではない。
地域唯一の中核病院として、高齢化と人口減少が進む地域における地域包括ケア病床の開設などの地域のニーズに沿った病院運営を進めるとともに、患者本位の優しさと思いやりのある地域医療の推進に努めている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 木曾病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透訓ガ	救臨感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	16,275	-	第1種該当	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
176	19	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
112	17	129

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【	令和2年度全国平均	

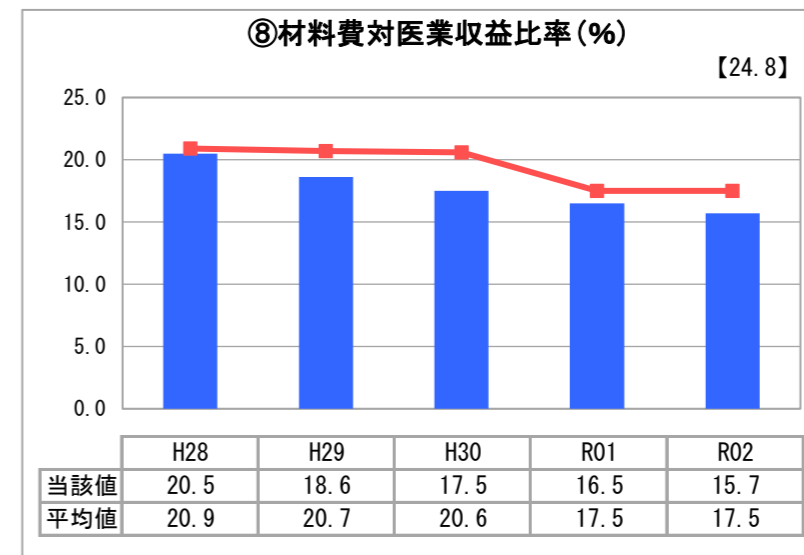
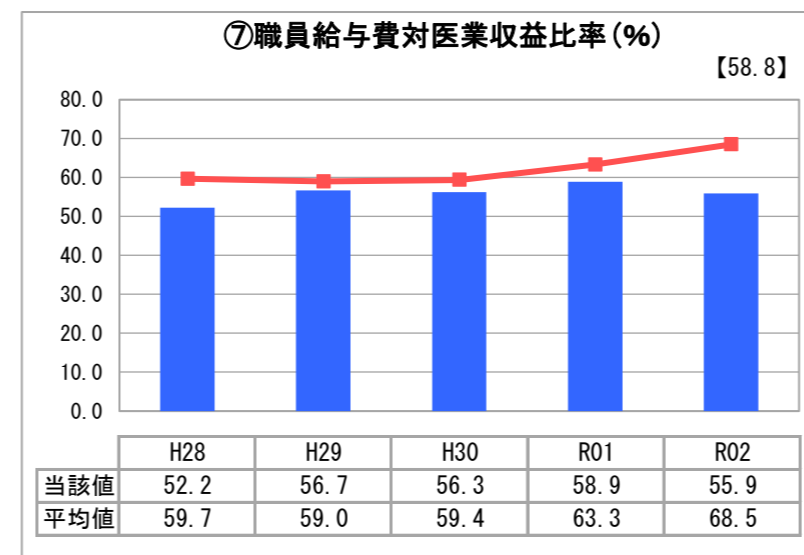
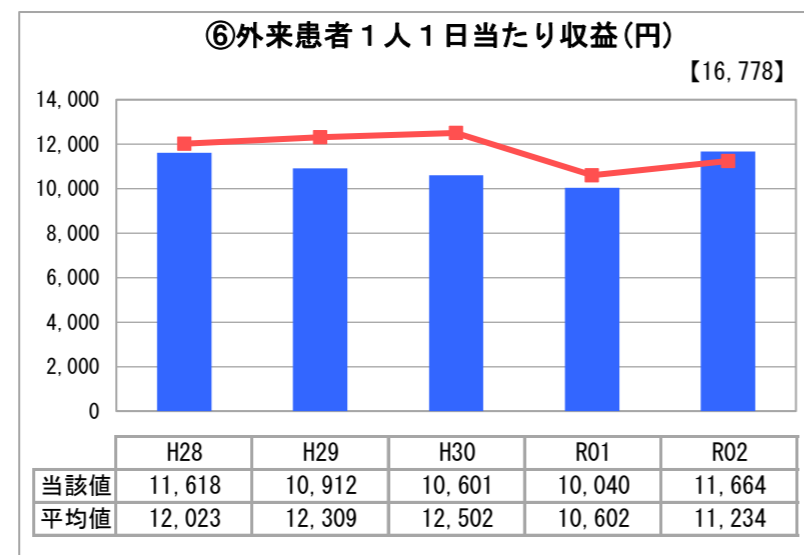
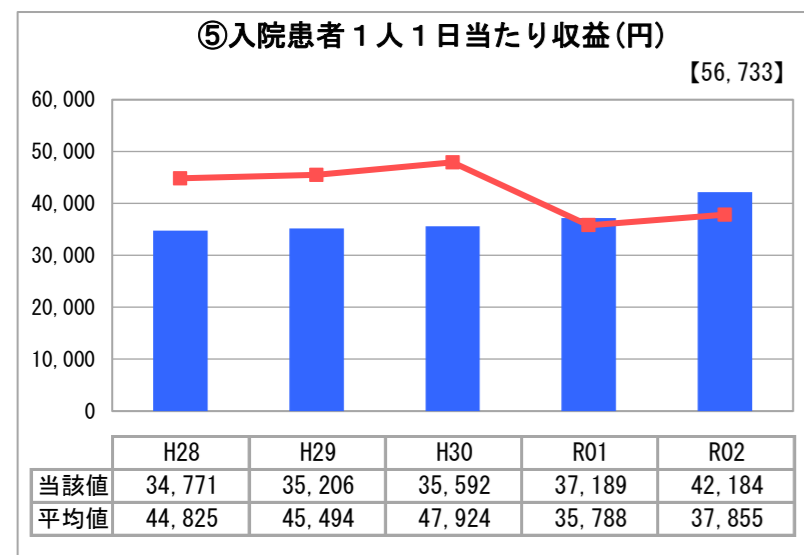
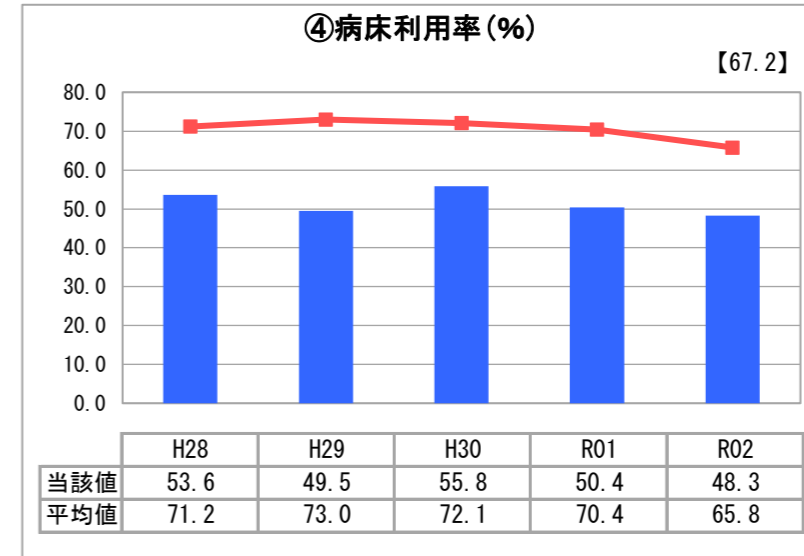
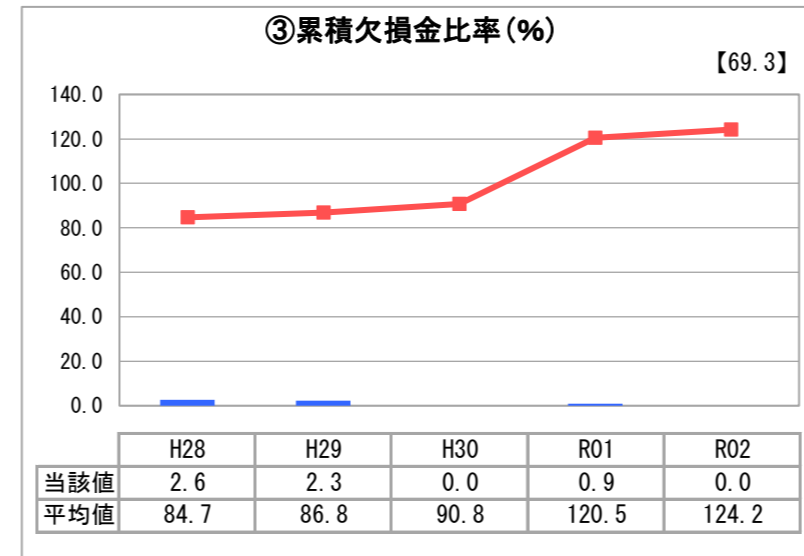
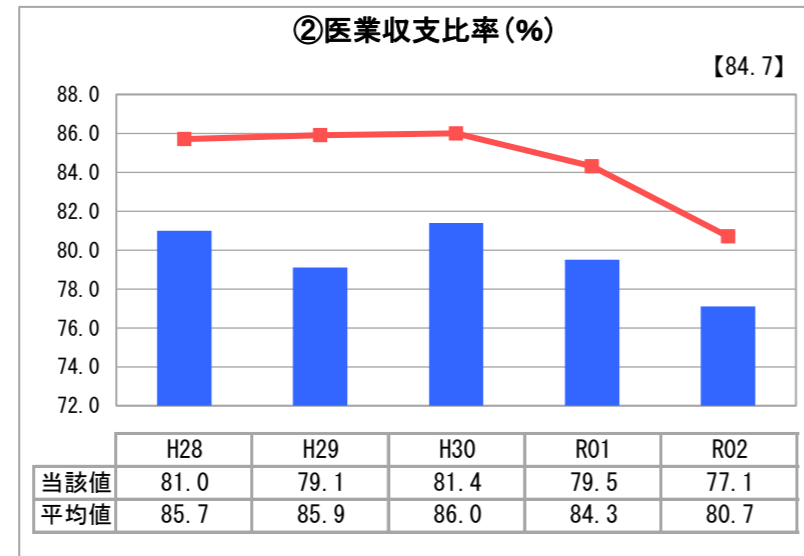
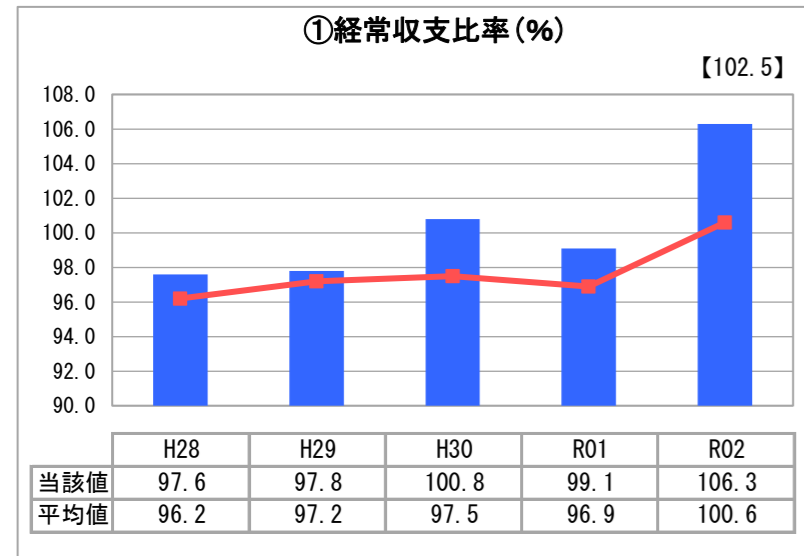
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成22	年度
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

当院は、木曾医療圏で唯一の病院として、24時間365日体制による救急の対応、災害時における医療活動の拠点としての活動、無医地区への巡回診療やへき地診療所への支援、地域がん診療病院としてのがん治療など、地域医療を提供している。令和2年3月に介護医療院を開院し医療と介護を一体的に提供する体制を整えた。また、併設の木曾介護老人保健施設と提携し医療と福祉の切れ目のないサービスを提供している。

当医療圏は中山間地域であり、高齢化が進んでいることから、訪問看護等の在宅医療における地域からの期待は大きく、7月に在宅療養支援病院を取得した。

II 分析欄

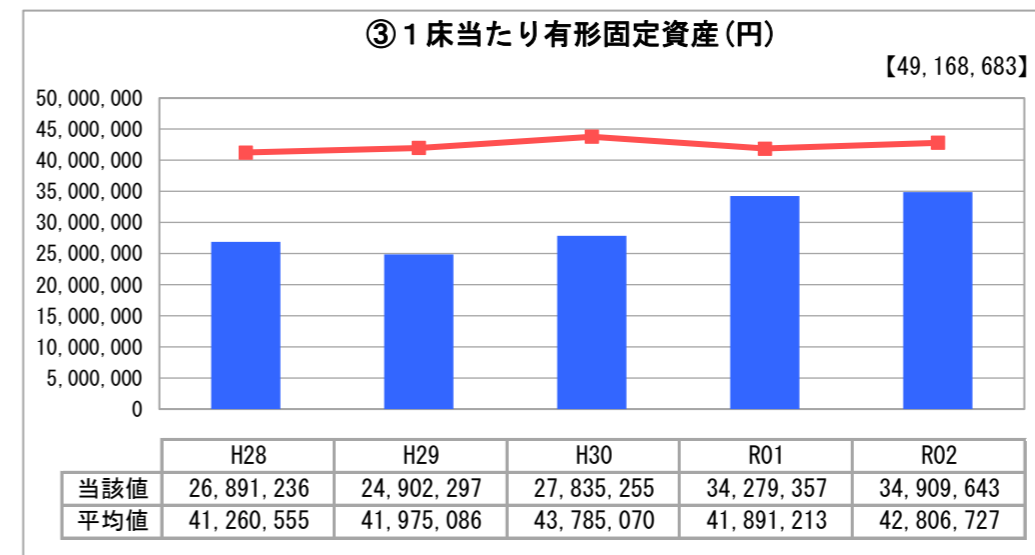
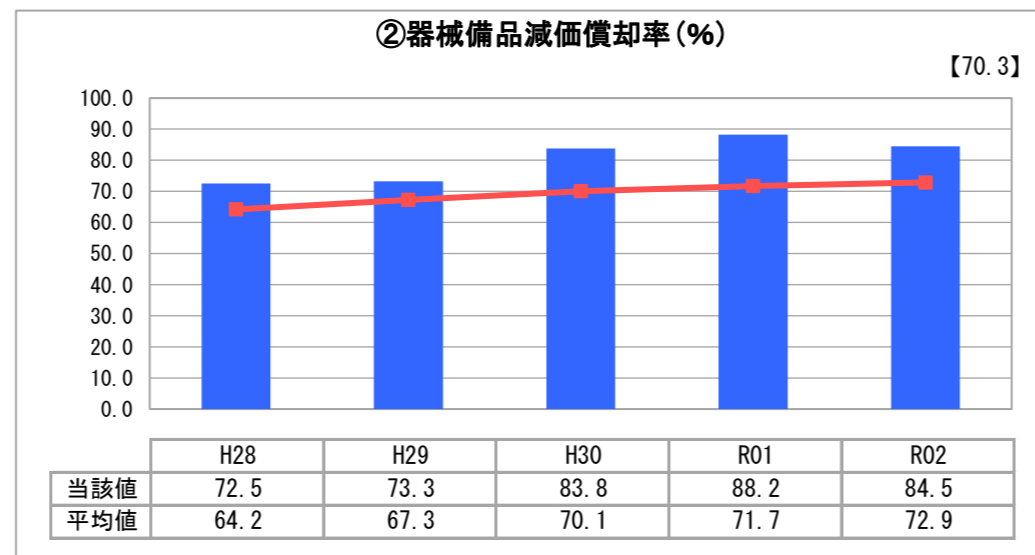
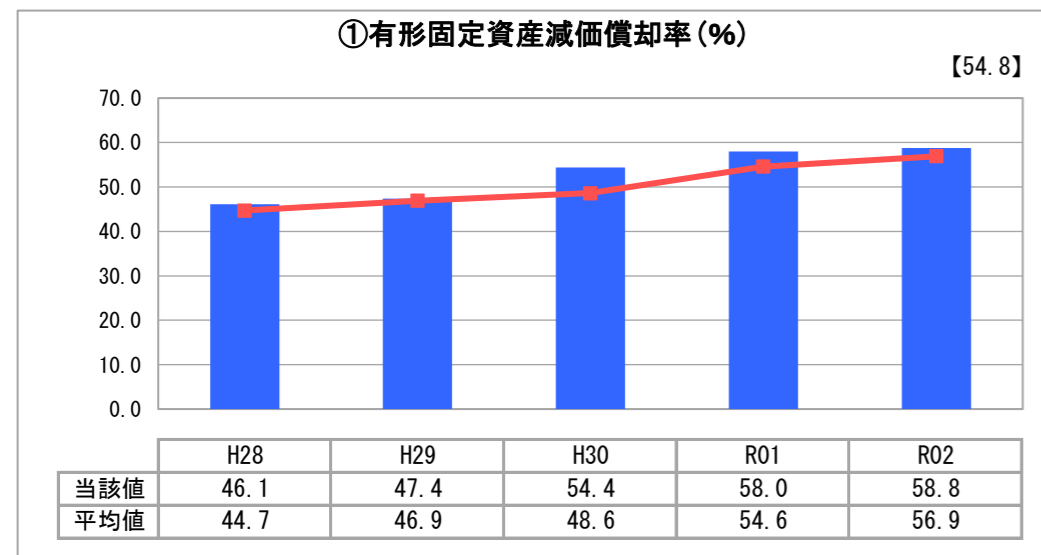
1. 経営の健全性・効率性について

・令和2年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルス緊急包括支援事業補助金により前年度を上回る比率となり、また、類似病院平均値より上回った。②医業収支比率では、コロナウイルスの影響により前年度を下回り、類似病院平均値より下回った。
 ・④病床利用率は、コロナの影響で稼働病床を減少させた等により患者数が減少したことにより前年と比較して減少し、類似病院平均値より下回った。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産、機械備品減価償却費率は類似病院の平均値をいずれも上回っており、老朽化は解消されていない。
 将来的には、施設の全面改築も含めて検討が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

木曾地域の人口減少、救急搬送件数の減少、新型コロナウイルス感染症への対応の要因により、入院患者数が減少し、病床利用率が全国平均を大きく下回っている。検診等の予防医療や訪問看護等の在宅医療を推進するなど医療の質を向上させながら支出を必要最小限に抑え、経営の効率化を図る必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和2年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 こども病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	I 未 訓 ガ	救 臨 地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	25,896	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
200	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	200
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
180	-	180

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

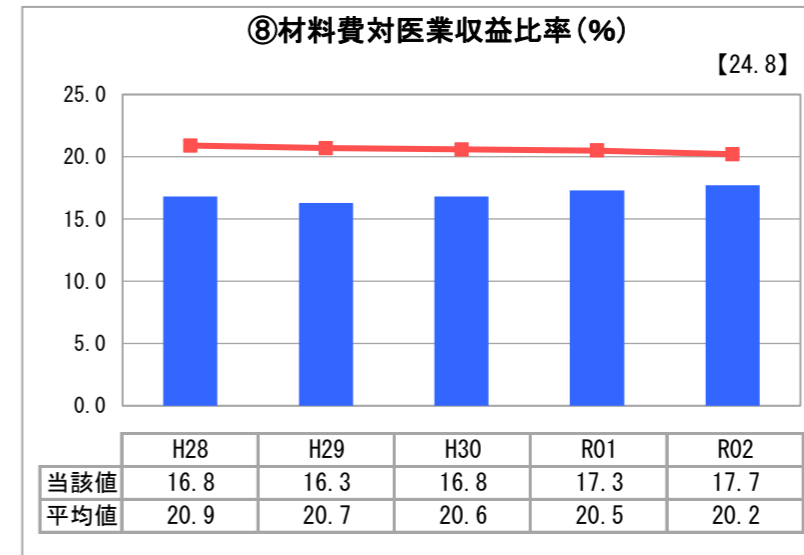
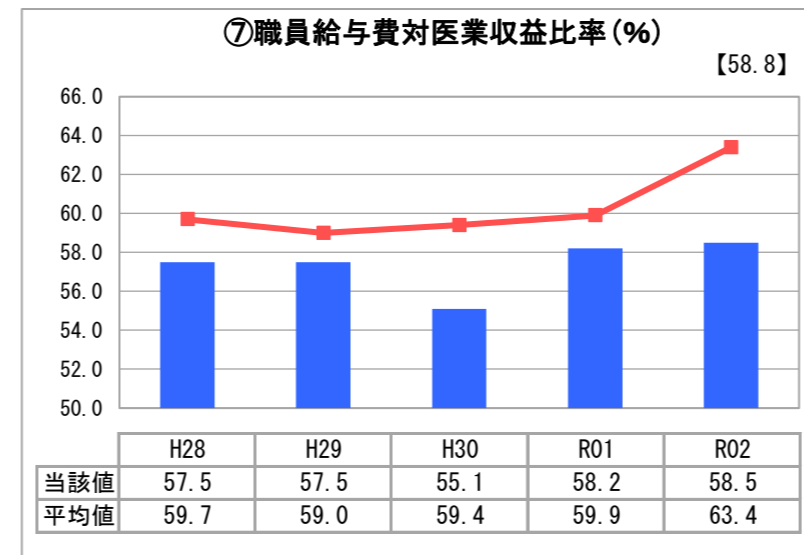
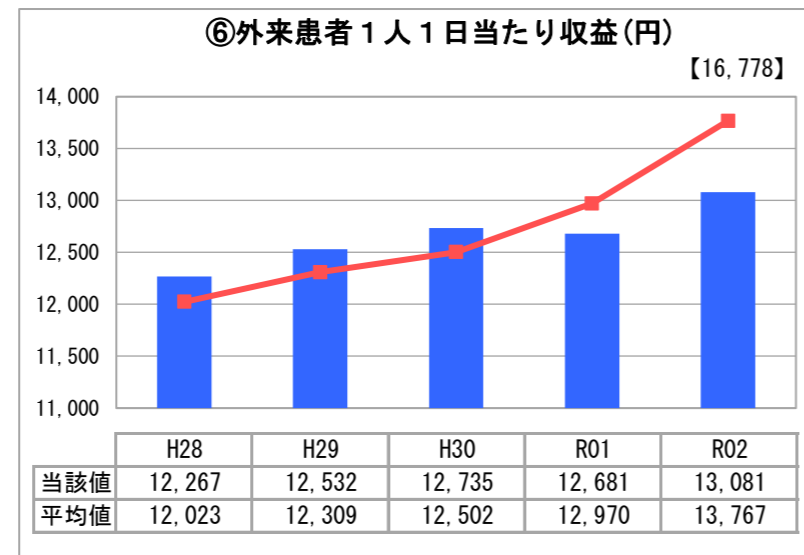
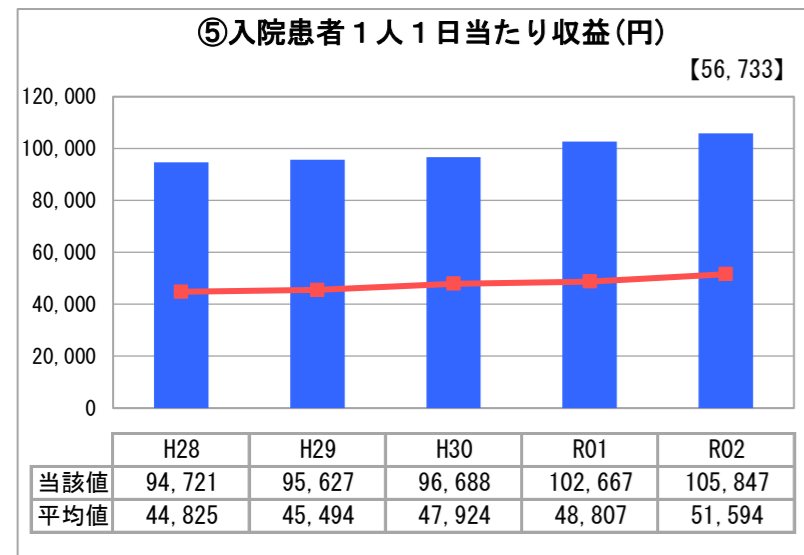
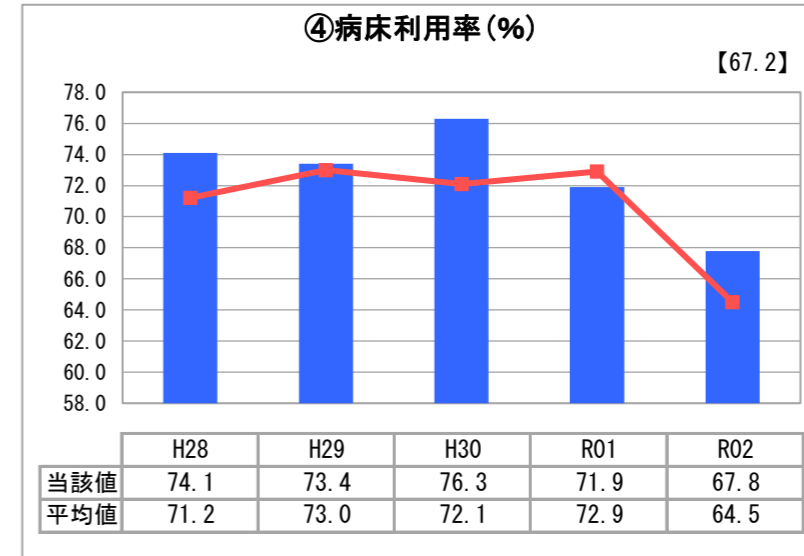
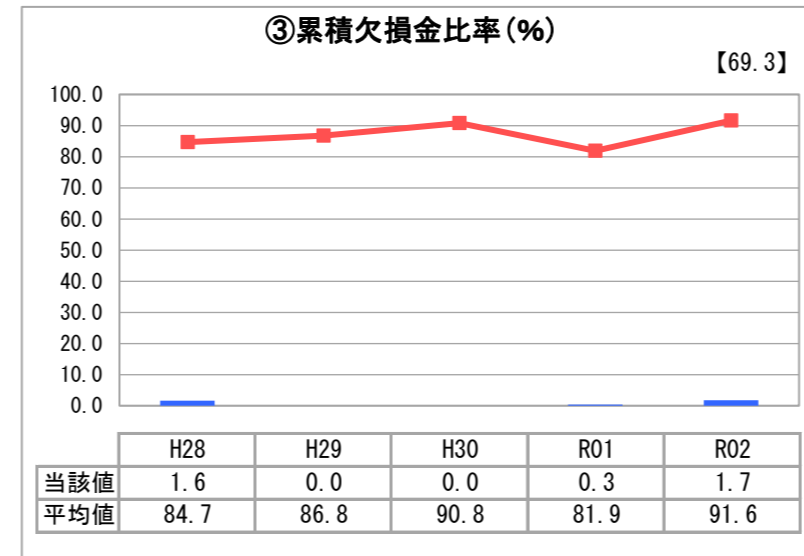
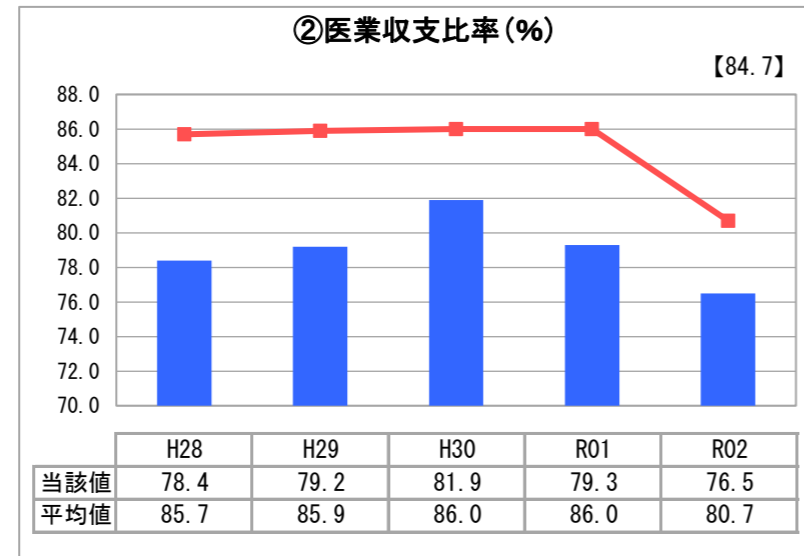
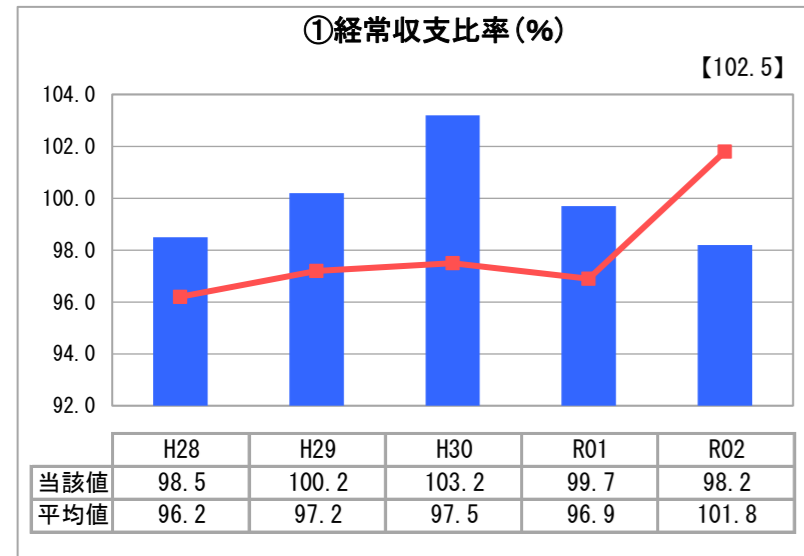
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成22	年度
-	年度	-

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

当院は、長野県唯一のこども専門の病院として平成5年に開設され、一般の医療機関では対応が困難な高度な小児医療の中核病院、県の総合周産期母子医療センターとしての機能を担っている。近年、高度救命救急医療に加え、最先端の機器を活用した早期発見、予防医療等のプレホスピタルケア、在宅移行支援やキャリアオーバー対応等のポストホスピタルケア、難治性小児一般疾患（小児食物アレルギー）への対応等、幅広い分野について、その果たすべき役割への期待が高まっている。

II 分析欄

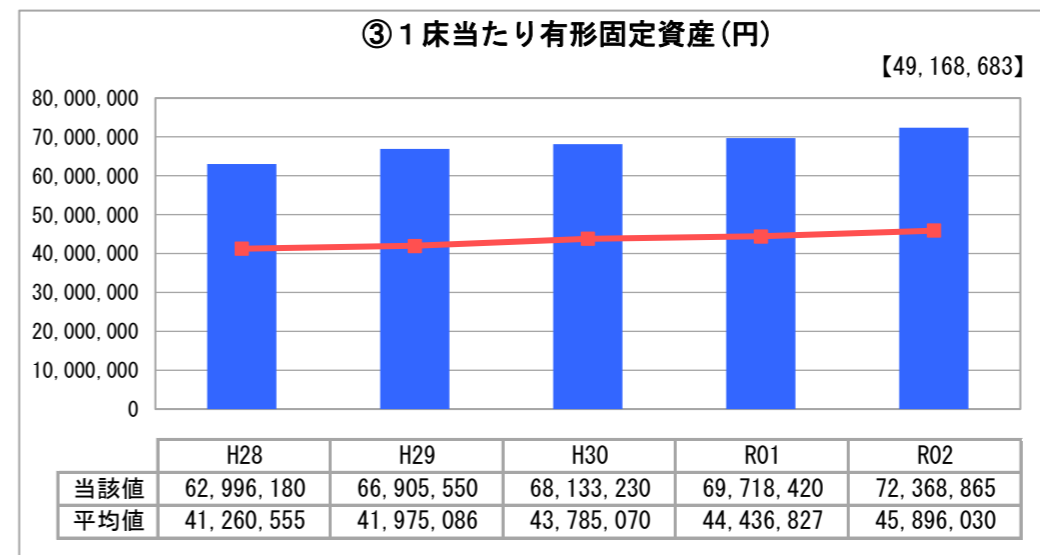
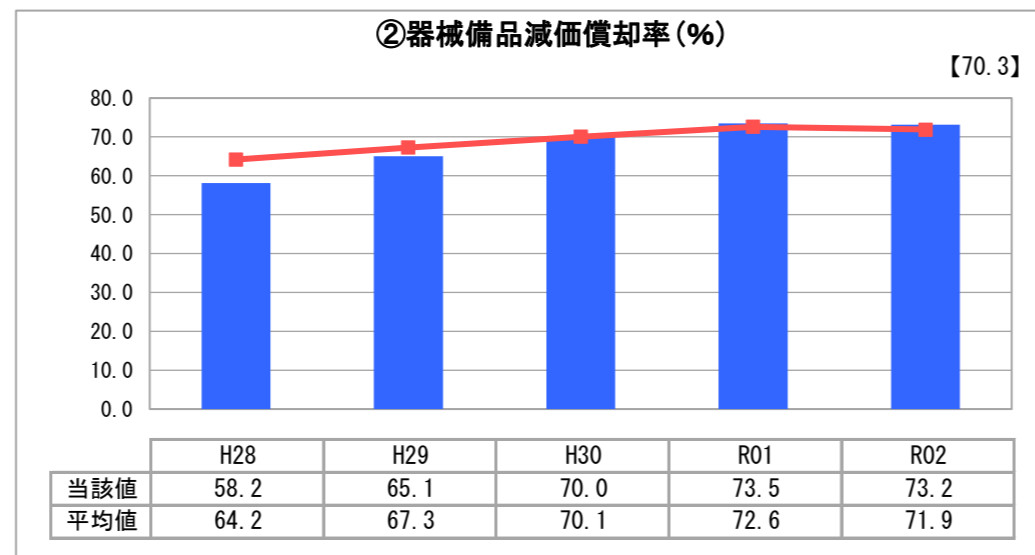
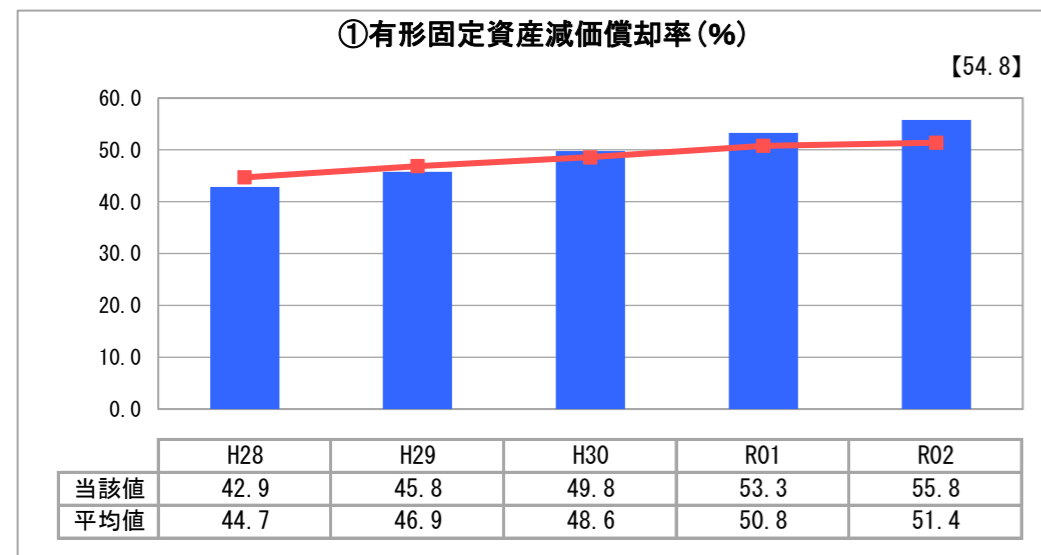
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び②医業収支比率は、前年度と比較し令和2年度は減少した。①及び②の減少要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、④病床利用率が低下したことが挙げられる。
⑤入院患者1人1日当たり収益は、高度先進医療を提供していることから、類似病院平均値及び全国平均値を大きく上回っている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産の減価償却率、器械備品減価償却率とも、老朽化の状況は類似病院並みと考えられる。
1床当たり有形固定資産に関しては、高度先進医療を提供するために行ってきた投資であり、結果として全国平均に比べ高額となっている。
将来的には、施設の全面改築も含めて検討が必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率、医業収支比率ともに減少傾向にあるものの、一般医療機関では対応が困難な周産期と小児の専門医療・救急医療を提供する使命を果たすとともに、患者数確保や加算の取得など更なる収益向上に努めるほか、各種経費の節減に取り組むことで、収支の改善を図ってきたい。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。